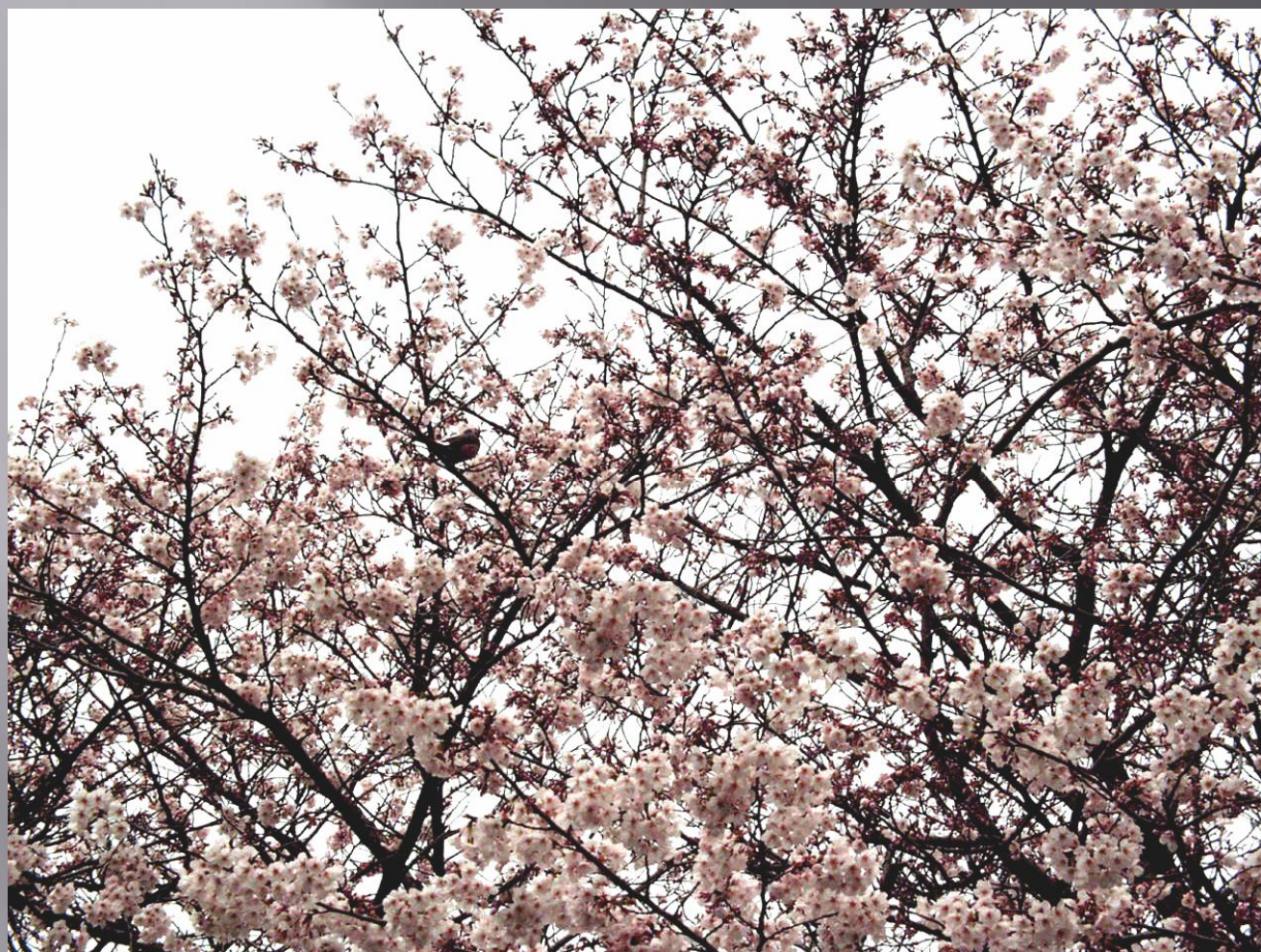


Vol.1, No.1 April 2008 創刊号

SAGA-LS Web Magazine

発行:九州シンクロトロン光研究センター / 利用推進協議会



Contents

Webマガジン発行にあたってのご挨拶
特集!! 成果報告会ダイジェスト
スタッフから
センターの今 ~増築状況~
弥生が丘のおすすめランチ
編集後記



Webマガジン発行にあたってのご挨拶

九州シンクロトン光研究センター利用推進協議会 (社団法人九州経済連合会)
鎌田迪貞 会長



WEBマガジンの創刊に当たり、利用推進協議会を代表して、一言ごあいさつを申し上げます。

九州シンクロトン光研究センターは、平成18年2月の開所以来、九州の産業界から大きな期待が寄せられております。例えば21世紀の成長産業であるナノテク、バイオ、新素材分野をはじめ、九州において国内第二の生産拠点化が進められている自動車産業、あるいは国内生産額の約2割を占める半導体産業といった、九州を代表するリーディング産業への応用可能性に期待が高まっております。さらには、農業、窯業あるいは環境分野に至る幅広い分野での利用が可能であることから、今後の九州地域全体の産業活性化にも大きく貢献するものと考えております。

このため当センターは、新産業創造、地域産業の高度化に向けたアジアワイドの広範な利用を見据えた知の拠点づくりを目指している施設であることから、九州全体で応援して参りたいと考えております。

また、こうした先端研究施設が、九州のいづれからも交通の便のよい鳥栖の地に立地していることから、多くの企業や研究者の皆様にご利用いただき、九州発の発見や新技術の開発が数多く生まれることを祈念いたしまして、私のごあいさつとさせていただきます。

財団法人佐賀県地域産業支援センター 九州シンクロトン光研究センター
上坪 宏道 所長

九州シンクロトン光研究センターが、平成18年2月にオープンして早2年が経過いたしました。この間、大きな事故、故障もなく順調に運用ができておりますのも、ひとえに皆様のご支援、ご協力の賜とこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、私は常々、シンクロトン光施設のような先端的研究施設は、従来のように大学の研究者が主に利用するだけでなく、多くの企業あるいは公立の各種試験研究機関の人々も自由に利用できる、いわば社会のインフラストラクチャーになるべきだと考えてきました。この施設を、学術的な研究だけでなく、産業界や農水産業などの現場が直面する問題の解決、新技術の開発など多様な研究開発に役立たせて、地域産業の振興、地域社会の発展に貢献するというのが当センターの主要な目的です。



そして、その実現のためには、こうした装置に不慣れな、例えば地域の中小企業であっても気軽に利用できるシステム、環境が重要であり、その土台作りをこの2年間進めてまいりました。昨年からの取り組んでいる文部科学省のナノテクノロジー・ネットワーク事業もその1つで、ナノテクノロジーをキーワードに全国の基礎基盤研究装置をネットワーク化して各種研究開発を支援しようとするものです。今後もこうした外部資金も活用しながら、利用しやすい研究環境を整えていきたいと考えています。

それと同時に、せっかく整えた研究環境も、まずは知っていただかなければ意味がありません。いろいろな方法と機会を利用して多くの方に当センターを知っていただくよう努力してまいります。このWebマガジンがその一助となれば幸いです。まずは、肩肘を張らない気軽な読み物としてスタートしたいと思いますが、何かご意見、ご要望がありましたら、お気軽にお寄せいただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

特集!! 成果報告会ダイジェスト

～九州シンクロトロン光研究センター・早稲田大学合同シンポジウム～

平成20年3月11日～12日

主催：財団法人佐賀県地域産業支援センター九州シンクロトロン光研究センター
文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業オープンリサーチセンター整備事業
早稲田大学ナノ理工学研究機構、ナノテクノロジーフォーラム

心地よい弥生の風につつまれて、早咲きの桜の花びらが一枚、ひらひらと舞っていました…。

3月11日から12日の2日間にわたり、早稲田大学にて、九州シンクロトロン光研究センターと早稲田大学との合同シンポジウムが開催されました。これは、佐賀県と早稲田大学とが「協同連携に関する基本協定」を締結（平成18年度）したことを踏まえ、平成19年度の成果報告会として実現したものです。

シンポジウム会場は、広い校内の一角にある小野梓記念講堂（地下2階）。春休みに入ったキャンパスを歩き交う学生さんたちに刺激を受けつつ、しばし、時がたつのも忘れるほど講演に集中してしまいます。

それでは、2日間にわたるシンポジウムを簡単に振り返ってきたいと思います！



会場：早稲田大学 小野梓記念講堂



第 1 日 目

宇高勝之様（早稲田大学）による開会の辞で幕を開けた、11日。

「シンクロトロンとナノテク基盤技術」というテーマのもと、基調講演は、九州シンクロトロン光研究センターの上坪宏道所長による「シンクロトロン光利用によるナノテクノロジーの現状」から、堀越佳治様（早稲田大学）の「ナノテクノロジー、昨日・今日・明日」へ。

つづく招待講演では、城石芳博様（㈱日立グローバルストレージテクノロジーズ）による、ハードディスクドライブについての講演と、立て続けに興味深いお話を聞くことができました。後半は九州シンクロトロン光研究センターでの研究成果について、河本正秀様（JASRI）、吉武剛様（九州大学）、加藤拓司様（㈱リコー）、松成秀一様（㈱ニコン）よりご紹介いただき、また、水野潤様（早稲田大学）は、早稲田大学ナノテクファウンダリーの活動について紹介されました。



ポスターセッションでは、たくさんの企業や大学、公設試からのご出展があり、大変な賑わいをみせていました。また、企業展示のブースでは、皆様、思い思いの方法で独創性に富んだPRをされており、ご参加の皆様も各ブースで立ち止まっては真剣に耳を傾ける光景が見受けられました。

研究交流会

ポスターセッションが終わると、皆さん次なる研究交流会会場（26号館15階「西北の風」）へと移動。またとない絶好の交流の機会。あちらこちらで、挨拶や名刺交換が行われていました。会場の和やかな雰囲気会話も自然とはずむ中、気になる話題はやはり最先端の研究について。皆さんの仕事に対する情熱が、ひしひしと感じられる一場面でした。

第 2 日 目

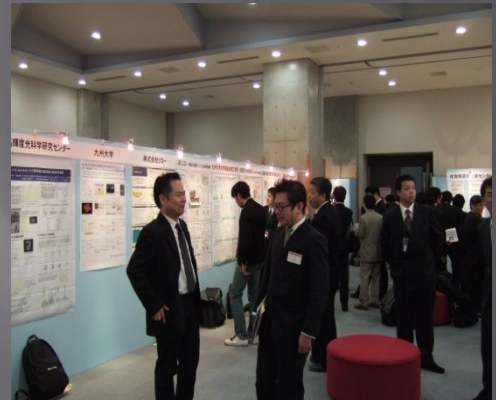


12日のテーマは「ナノテク基盤技術と産業への展開」。内閣府大臣官房審議官科学技術政策担当の大江田憲治様を迎え、第3期科学技術基本計画についてご講演いただきました。

続いて、九州シンクロトロン光研究センターの平井康晴副所長による「シンクロトロン放射光の産業利用」と題した招待講演。今後ユーザーに対してその利用フェーズにマッチした利用技術と利用方法を整え提供していきたいと目標を述べました。

午後には、早稲田大学オープンリサーチセンターおよびナノテクノロジーフォーラム参加研究室による活動報告（全6件）がありました。続いて大泊巖様（早稲田大学）より、安全のためのナノエレクトロニクス・ICTコンソーシアム設立のご紹介があり、コンソーシアムへの積極的な参加を呼びかけられました。

そして、2日目も行われたポスターセッション。
最終日ということもあり、たくさんの方々にご来場いただきました。



シンポジウム開催にあたり、ご協力いただいた関係者の皆様
本当にありがとうございました。

ひとくちメモ



小野記念講堂の向かい側にある、かの有名な大隈記念講堂(写真右)
大隈重信公が早稲田大学の創始者であることは広く知られていますが、彼の出身地が佐賀県であることはご存知でしょうか？地元、佐賀では「佐賀の七賢人」として親しみ、称えられています。

学生さんたちを見守るかのように、校内に佇む大隈重信公の像(写真左)
その表情は、凛として厳しく、けれどその眼差しは、どこか穏やかであたたかい…。

日々、めざましい進歩をみせるナノテクノロジー分野。その応用分野は多岐にわたり、無限の可能性を秘めています。

しかし、どんなに素晴らしい研究や技術も、それを司るのは人。人と人の知識の交流があれば、さらに、その未来が広がるのかもしれませんが。今回のシンポジウムでは、企業や大学などの枠を超え、各界の第一線で働く研究者の皆さんから学生さんにいたるまで、ご参加の皆様方の貴重な交流の場となったことと思います。

多種多様の業種との出会い、新たな発見……。このシンポジウムが、ナノテクノロジー分野の、さらなる発展へつながるものとなっていれば幸いです。

参加者：延べ177名

たくさんのご参加ありがとうございました



参加者の声!!

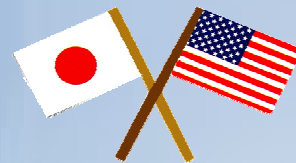
- ・ハードディスクドライブの話が興味深かった。
- ・シンクロトロン光という光を初めて知った。SAGA-LSをぜひ一度、利用してみたいと思っている。
- ・軟X線 SR-PES、UV照射についてもっと聞きたい。



お知らせ

ただいま、シンポジウムの詳細についての報告書を作成中です。完成次第ホームページにも掲載しますので、もうしばらくお待ちください。

スタッフから



私のアメリカ体験

3月上旬に、文部科学省(MEXT)および米国科学財団(NSF)が企画した日米若手研究者交流プログラムに参加いたしました。2週間をかけて米国の7つの大学を順に訪問し、ナノテク関連の研究室の見学やセミナーを行いました。またNorthwestern Universityではシンポジウムを行い、積極的な意見交換が行われました。

今回の旅で感じたことの一つに、非常にベタではありますが”アメリカは広い”ということがあります。しかしこれは研究の分野においては必ずしも良いことともいえません。特に複数の分野の研究者が協力して研究を行う場合、やはり物理的な距離が近い方が有利であることはいうまでもありません。また、日本がいかに恵まれた環境にあるかということも感じられます。このような狭い国の中に大小複数の放射光施設が点在しており、比較的容易かつ臨機応変に放射光施設を利用できるのですから。研究者人口と放射光施設の比を考えれば、極めて身近に放射光を利用できる環境があるわけです。

そんなわけですから、日本の研究者の方々には、もっと放射光の優れた特性を知っていただき、積極的に利用していただきたいと願う所存です。恵まれた放射光利用環境は日本のもつオリジナリティーそのものですから、これを最大限に利用することが日本独自の成果や研究における文化を生み出すことに繋がると思います。そして我々放射光に直接携わるスタッフも、利用者のニーズに応え、また新たな測定・解析手法を提案していけるよう努力を重ねて参りたいと強く思う次第です。

最後に、日米若手研究者交流プログラムを主催する文部科学省(MEXT)ならびに米国科学財団(NSF)、引率の先生方ならびに参加された日米双方の若手研究者の方々に深く感謝いたします。

ビームライングループ 研究員
隅谷 和嗣

センターの今 ～増築状況～



完成後イメージ図

九州シンクロtron光研究センターでは、多様化するユーザーニーズに応えるため、ただいま拡張工事の真最中。工事はいよいよ大詰めにさしかかり、まるで生き物が成長するように、一日、一日と、その姿をかえていきます。はばたく日を楽しみに…。

まもなく完成

完成予定：2008年7月中ごろ

お知らせ ユーザーの皆様へ

放射線業務従事者登録について

実験ホールは放射線管理区域のため、原則として放射線業務従事者でないと立ち入ることができません。九州シンクロtron光研究センターで放射線業務従事者登録を行うためには、ユーザーの所属において、法定の教育訓練・健康診断・被ばく管理を適切に実施されていることが条件となります。

経験豊富なユーザーの方でも、所属での教育訓練の受講を忘れられていたために、この登録ができず、予定していたご利用に至らなかったという残念なケースがありましたのでご注意ください。

[放射線業務従事者登録](#)については、ホームページをご覧ください。

弥生が丘のおすすめランチ

九州シンクロトン光研究センター周辺にあるおすすめのお店をご紹介します。お昼ごはん、お散歩がてら足を運んでみてください。

辛子明太子と言えば博多というイメージですが、ここ弥生が丘にもこんなに美味しい明太子があるんです!! 卵本来の素材の良さを生かしたこだわりの明太子。明太子にはうるさい九州内のユーザーさんにも、遠方からお越しのユーザーさんにもぜひ食べていただきたい味です。



蔵出しめんたい本舗



ランチ蔵 650円
おいしい明太子と十穀米のごはん、そしてお味噌汁。日本人はやっぱりこれです。ごはんは大盛り(+50円)をオススメしますよ。



めんたいパスタ 880円
こちらも人気メニュー。明太子の味が濃厚で、ソースとの相性もバッチリ



ゆずみつ
シメはゆずみつ。さわやかな甘さが口の中に広がります。ドリンクはすべてのランチタイムメニューについています。

店内

古民家をそのまま移築した、懐かしくほっとする店内。1階では明太子を販売していますのでお土産にどうぞ。



ACCESS

センターから歩いて約10分。
〒841-0005 佐賀県鳥栖市弥生が丘5丁目1番地

営業時間 10:00 ~ 19:00

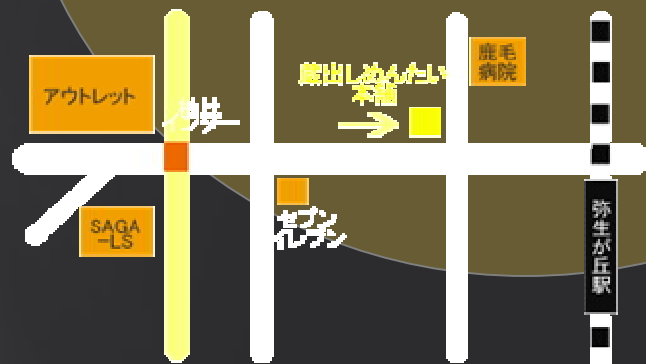
ランチタイム 11:30 ~ 14:00

喫茶タイム 10:00 ~ 18:00

TEL 0942-87-9330

蔵出しめんたいホームページはこちら

<http://www.kuradashi.co.jp/>



編集後記



田代公園

鳥栖のお花見スポットとして有名な田代公園。600本もの桜が植えられており、毎年、弥生の月には「とす弥生祭り」も行われています。

—お花見の季節がやってきました—

豊かな自然にめぐまれている鳥栖市の弥生が丘。すこし散策すれば、つくしん坊が顔を出し、菜の花が風に揺れていたりと、あたり一面、春の息吹で満ち溢れています。

写真はセンターのすぐ裏手にある田代公園。いま、田代公園の桜は七分咲きくらいでしょうか。満開までもう少し時間がかかりそうですが、週末には早くもたくさんのお花見客でにぎわっていました。

九州シンクロトン光研究センター（SAGA-LS）を、皆さまにもっと知ってもらいたい！身近に感じてもらいたい！！・・・そんな気持ちから出発した、このWebマガジン。

創刊号はいかがでしたでしょうか。施設のこと、研究スタッフのこと、鳥栖のことなど、これからたくさんのお情報を皆さまにお届けしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。